

科目名		授業形態	担当教員名	
血液浄化装置学演習		演習	阪本 壮志・岸本 佳久・平田 拓也	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
代謝に関する医療機器の動作原理、操作方法、保守管理方法などを演習を通して講義する。				
授業の到達目標				
演習を通して、臨床に即した知識や技術の修得を目指す。				
授業計画				
回	内容			
1	実習(1)装置(血液ポンプ・圧力計)調整			
2	実習(2)装置(圧力計)調整			
3	実習(3)装置(除水ポンプテスト)調整			
4	実習(4)装置(ダイアライザ除水)実習			
5				
6	実習(5)装置(TMP測定)実習			
7				
8				
9	透析用穿刺針について			
10				
11				
12	実習(6)(流量試験)			
13				
14				
15	実習結果発表会			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	70%	提出・論理・個性・体裁		
小テスト				
平常点	20%	授業態度、実習への取り組み方、姿勢により評価する。		
その他	10%	発表		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
血液浄化療法ハンドブック2024	透析療法合同専門委員会		協同医書出版社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
血液透析技術基礎セミナーテキスト	日本血液浄化技術学会			
生体機能代行装置学 血液浄化療法装置	施設協議会		医歯薬出版	
臨床工学技士のための透析医療	篠田俊雄他		秀潤社	
自由記載				
備考				